# ふるさと甲東

発行人
甲東コミュニティ委員会
53-4591
編集
「ふるさと甲東」編集委員会

## エッセイ　わたしの甲東

### 甲東園1丁目からの眺望

このマンションが新築されて引っ越してきて20年近くになりますが、11階からの眺めは素晴らしく、大変気に入っております。

毎朝6時半から部屋でラジオ体操をしておりますが、遠くに葛城山が眺望できます。

春から夏にかけてはかすんで見え、秋から冬にかけては空気が澄んでスッキリ見えています。山の見え方により、その日の天候が分かるのです。東側には生駒山、北側には阪神競馬場の大きな屋根、その向こうに宝塚の山、西側には甲山と六甲山が連なって見えています。それぞれ山の濃淡で遠近感が感じられます。

大変素晴らしいのはベランダから十三大橋の「淀川の花火」が見られ、以前ははるか遠くにPLの花火も見えていました。昨年は大阪・関西万博の花火が見えて毎日楽しんでおりました。私の生涯で、もう二度とこのような機会はないでしょう。万博花火の右側には阪神甲子園球場のナイターの明かりが二つ見えていました。

日中は、目の先約200mの所を東西に走っている山陽新幹線が眺望でき、時折、アニメとコラボしているブルー系やピンク系などの車両が通過するのを見かけます。

東方には武庫川の土堤に松並木が連なっています。その向こうはるかに梅田のビル群が見え、その南方向には「あべのハルカス」の上部や京セラドーム大阪の丸い屋根も見えています。

11階に入居して、素晴らしい眺望が見られることは幸運と思っております。

## 街かどのスケッチ

ここに描かれている絵は、私の友人からパッチワーク展に使う花の絵を描いてほしいと依頼があり、妻が描いた絵です。妻は20数年前よりTシャツなどに花の絵を描く教室に通っていました。このバラの絵は、布に特殊な絵の具で描き、アイロンを当てると洗っても色が落ちないです。花の絵のTシャツは、知人にプレゼントして喜ばれております。

文　甲東園　T・S
絵　甲東園　A・S

# まちづくり

**私たちの地域では、昨年秋にさまざまな催しが行われました。参加した人たちは楽しい時間を過ごしたようです。そこで、一部ですが皆さんに紹介します。**

「癌癌介護時々認知」という演題の講演会を、医師の中村清子さんを招いて、アプリ甲東集会室で昨年10月６日に開催し、たくさんの人が集まりました。

中村先生は月１回程度カフェ「もんまえ」に来て、お茶を飲みながら、そこに来る人の医療の相談にも応じている“お医者さん”です。

末期がんの夫と認知症の母の介護をする中、自分もがんを患うという状況で、その時々に起こる問題を解決しながら、２人を最後まで穏やかにみとったそうです。その体験から出てくる言葉は、これからの人生を、悔いなく充実して送るためのヒントを私たちに与えてくれました。

主催：甲東地区社会福祉協議会

講師の体験談を真剣に聞く参加者

---

甲東小学校の校庭で「第23回甲東地区運動会　スポーツフェスティバル21」を、昨年10月12日に開催しました。

最近では小学校の体育会で行われなくなった「紅白玉入れ」や「パン食い競争」など昔ながらの競技を取り入れ、今回は大人の「デカパンリレー」も復活しました。地域の未就園児は保護者と一緒に「宝さがしレース」に参加していました。

最後は恒例の大抽選会。みんなわくわくドキドキ、掃除機や炊飯器、その他にも多くの景品があり、抽選に参加した全員で盛り上がりました。子どもから大人まで、たくさんの地域の人たちの笑顔がいっぱいの運動会になりました。

主催：スポーツクラブ21甲東

人気の玉入れは接戦でした

「パン食い競争」。やってみると、なかなか難しいよね

---

段上町6丁目の畑で、昨年10月11日にイモ掘りを実施し、段上小学校児童、未就園児、保護者、役員175人が参加しました。

西宮市農業青年研究会の人から、サツマイモの収穫までの話や掘り方を教えてもらいながら、一生懸命に掘り起こし、大、小さまざまなサツマイモが収穫できました。子どもたちの笑顔が輝き、実りの秋を楽しむ1日となりました。

主催：段上地区青少年愛護協議会

みんなで力を合わせてヨイショ！

---

報徳学園で３回目を迎える「秋まつり」を、昨年11月16日に開催しました。

約800人が参加して大盛況に終わり、人と人とのつながりを広げる機会となりました。

主催：段上地区青少年愛護協議会

学園祭の「Mr.報徳」で優勝したチームのダンスパフォーマンス

←見ても聴いても楽しい音楽♪「打楽器アンサンブルユニットROOMs」

ギターの弾き語り。『手のひらを太陽に』を子どもたちが手話で披露

---

段上小学校運動場で「第51回段上地区ふれあい運動会」を、昨年10月12日に行いました。

当日は台風23号の影響を心配しながらも、参加者の熱気で小雨を吹き飛ばし、開催することができました。

「障害物競争」やフラフープの輪に入って２人で走る「なかよしスラローム」など、多くの種目に、競技に参加した人と応援してくれた人たちが一つになった運動会でした。「段上はワンチーム！」

主催：スポーツクラブ21段上

人気No.1の「パン食い競争」

阪神・淡路大震災から30年特別企画「バケツリレー」

２人息を合わせて「なかよしスラローム」

---

◆情報と写真の提供にご協力いただき、ありがとうございました。

# ともに生きる

恒例の「敬老のつどい」を昨年10月19日、秋晴れの中で開催しました。

毎年楽しみにしていただいており、例年は75歳以上の一人暮らしの人が対象でしたが、今回は75歳以上全ての人を民生委員・児童委員の協力の下、招待しました。夫婦での来場もあり、今年は82人が参加しました。

おいしいお弁当、関西学院大学落語研究会の落語、頭の体操クイズで皆さん大いに楽しみました。

主催：段上西地区社会福祉協議会

色彩り豊かなお弁当を食べながら会話が弾みます

落語を聞いて、楽しいひとときを過ごしました➡

甲山を背景にみんなでハイ・チーズ！

甲山森林公園に昨年11月16日、総勢39人でハイキングに出かけました。

紅葉が進む甲山はとてもきれいで、秋の空気を感じながら歩くことができました。途中の展望台では、自分たちの小学校区を眺め、景色を楽しみました。

お弁当を食べた後は、西宮市制100周年を記念したクイズ大会を行いました。西宮市をよく知る子どもたちには、簡単すぎるようでした。

暖かい日差しに恵まれ、心に残る１日となりました。

主催：スポーツクラブ21段上西

「ひのくちのつどい　長寿を祝う会」を、昨年11月１日に樋ノ口小学校体育館で開催しました。

ゲストに「混声合唱団はもーるKOBE」を迎えて、参加者の長寿とイベントの10周年を祝いました。

参加者は、男性19人、女性22人の美しい歌声に聞きほれ、また、愉快なパフォーマンスに思わず笑みがこぼれる、静と動を感じた魅力満載のステージを楽しんでいました。

主催：樋ノ口地区社会福祉協議会

参加者はボランティア、来賓を含む約300人。
おみやげにおはぎをもらって帰路につきました

「樋ノ口スポーツフェスティバル」を、昨年11月２日に樋ノ口小学校で開催しました。

体育館ではボッチャと車椅子バスケットボール、運動場ではモルックとフライングディスク、体育館前ではストラックアウトの体験ができました。

参加した子どもたちは「車椅子バスケットが楽しかった！」「ストラックアウトでパーフェクト出したよ」「来年も参加したい」と笑顔で話しました。

共催：樋ノ口スポーツクラブ21
樋ノ口地区社会福祉協議会

難易度高めのフライングディスク。得点したときは高揚感がすごい！と何度も挑戦する人も

オオクスの木漏れ日が、まるでステージのスポットライトのように☆（ブルームコーンによるゴスペル♫）

「第１回大市フェス～社（やしろ）で会いましょう大作戦～」を、昨年11月３日に開催しました。

会場となった大市八幡神社では、拝殿前と樹齢４００年のオオクスの下にステージを設け、甲武中学校吹奏楽部やゴスペルなど、多彩なジャンルの音楽が披露されました。また、広場では獅子舞、太鼓台などのパフォーマンスがありました。他にも大市焼きや羽釜ご飯などのグルメに、キッズ宝探し、太鼓のバチ作り体験など、さまざまな世代が楽しんだイベントとなりました。

共催：大市フェス実行委員会
大市八幡神社

今年も、１年を通して各地域で盛りだくさんの催しが計画されます。皆さん、ぜひ参加してみてください。

# 令和7年度地域懇談会
# 対話で学ぼう！ まちのがっこう

甲東コミュニティ委員会主催の令和7年度地域懇談会が、昨年10月16日にアプリ甲東集会室で行われました。

NPO法人なごみ事務局長で、まちのがっこう校長でもある田村 幸大（ゆきひろ）氏を講師に迎え、「対話で学ぼう！ まちの学校」をテーマに、甲東コミュニティ委員会から19人、『宮っ子』編集員5人、地域から15人、NPO法人なごみからサポーター3人の計43人が参加しました。

「まちのがっこう」の活動内容の話を聞いた後は、みんなで「まちがく」ミニ体験に参加しました。楽しくグループで話し、代表が発表。終わった時には人がつながっているという講座でした。人と話すことによっていろいろな気付きがあり、今後のコミュニティーづくりの参考になりました。

## 「まちがく」ができるまで

講師の田村さんは大学生時代、教育に興味を持ち、学校ボランティアに参加しました。すると、なんとなく違和感が。子どもたちは楽しそうに学校生活を送っています。しかし、子どもも教師もどこか窮屈そうに感じたそうです。

教師を目指していましたが、教育現場の現状を外から変えたいと思うようになり、3回生の時、本当に行きたくなる学校をつくろうと、学生団体CLOVER（クローバー）を立ち上げました。京都の廃校舎を利用して3日間の学校キャンプを実施。その後、他の小学校からも要望があり、卒業後、NPO法人をつくりました。

講師の田村さん

## 「まちがく」とは

年齢や立場に関係なく、誰もが学びたいと思ったときに学べる「まちの学校」です。「まちがく」ではスマートフォンではなく、人と会って学びます。学び方は子どもから、大人から、親子で、友達と、三世代で、など自由に学ぶ学校があってもいい。公園、カフェ、店舗のイートインスペース、百貨店や企業、まちのあらゆる場所は教室に変わります。いろいろな企業と協力することで、さまざまな先生を招くこともでき、参加費を抑えることもできます。

まちで学び合うことで、新しい仲間ができます。「まち」全体が「がっこう」のような場所になることで、まちが変わります。活動が生まれ、まちが動き出します。さまざまな年齢や立場の人が共に学び合うことが、まちづくりにつながります。

## 大事にしていること

自分だけが学んで帰る「座学」は実施しません。一緒に考え、意見を交わす。体験する。課題に触れ、実践する。講師を決めて人を集めるのではなく、学校をつくりたい仲間を集め、「一緒に学ぼう！」と声を上げる。あなたの「知りたい」は他の誰かの「知りたい」でもあるかも。「あなたの学びたいことは何ですか？」こうして、新しい講座が企画されていきます。

講座の後はみんな笑顔に


いけだ鍼灸整骨院

| 受付時間 ＼ 曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 9:00~1:00 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| 午後 | 5:00~9:30 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 |

日祝休み

予約優先

西宮市野間町4-32-101
TEL 0798-64-5699

院長 池田裕昭

広告

# みんなで参加「まちがく」

６グループに分かれて、「まちがく」を体験しました。

みんなでアイデアを出し合います

## ウオーミングアップ

### 自己紹介＆グループメンバーの意外な共通点を探そう

グループで何か共通することを見つけると、お互いの距離が近くなるそうです。まずは意見を言いやすい雰囲気づくりからスタート。

## ステップ１

### キャンパスになったら面白い場所、こんな場所がキャンパスになったらという場所を考えよう

身近な地域の中で、今まで学校のイメージはなかったけれど使えそうな所を探しました。

駅、空き家、介護施設、お仏壇の浜屋２階、教会、競馬場、ファーストフード店、郵便局、クラブハウス、仁川口橋、学校、水道局、関西学院大学馬小屋、田畑、フードコート　など…

## ステップ２

### 今知りたいこと、悩んでいること、一緒に考えたいこと、好きなこと、関心あることを挙げていこう

日常の中で気になっていることを話し合いました。

定年後の夫婦関係、終活（墓じまい）、スマホの使い方、プレみや、※物が捨てられない、子どもが朝起きない、男性が外に出ていかない、孫がゲームに夢中、　など…

※中学生の部活動が、国の方針で廃止（少子化、働き方改革、子どものニーズの多様化など。代わりに西宮市では、プレイ（「楽しむこと」「やってみたい！」）をコンセプトに、子どもが自ら主体的に選択し、活動を楽しめるようプレイにしのみや」＝「プレみや」が、令和８年９月から地域展開で実施

## ステップ３

### 場所と知りたいことを組み合わせて、講座を考えよう【○○キャンパス】で学ぶ《○○》

ステップ１、２を組み合わせて講座を考え、紙に書いて、ホワイトボードに貼りました。そして、自分が受けたいと思う講座にシールを貼りました。

いきなり講座を考えても、新しい講座のアイデアはなかなか出てきません。場所、知りたいことを、別々に考えて組み合わせることで、新しい企画が思いつきやすくなります。

面白そうな講座のアイデアがたくさん出ました

- 【野菜の直売所】で学ぶ《今日の晩御飯》
- 【スターバックス】で学ぶ《現役大学生から聞く子どもの進学、習い事》
- 【デイサービス】で学ぶ《定年後の夫婦関係》
- 【集会所】で《行き先のないシャイな男性の集まり》
- 【お仏壇の浜屋】で学ぶ《終活（墓じまい）》
- 【スポーツクラブ21のクラブハウス】で学ぶ《プレみや》
- 【阪神競馬場】で学ぶ《スマホの使い方（SNS、写真）》

## 参加者の感想

- 地域内で学ぶ場を挙げることから始まり、自分の困り事を掛け合わせることで、イベントを立ち上げるという発想が面白かった。
- 学校以外を全て学びの場にするという発想が良いと思いました。学校で学ぶというイメージがありますが、卒業後の方が必要に迫られて学ばないといけないことも多いので、いろいろな機会があるのは良いことだと思いました。
- 身近な悩み、事柄を出し合い、初対面の方々とごく自然に意見交換ができ、新しい出会いにつながりました。
- 講演だけではなく、参加型で実際に体験しながらの学びの場だったので、とても楽しかったです。
- まちがくの皆さんが楽しそうに参加しておられる映像を見て、改めていい活動だなと思いました。
- グループで話したことが面白かったです。いろいろな角度から見て感じて言葉にする→顔を合わさないと感じられない。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

小学生・中学生　見学自由・体験無料　甲東小学校北門すぐ
受験対策・先取り学習・宿題補講・自習　講師は全員現役関学生！！
◆放課後等デイサービス◆　放課後 スクール いつざいや
～学習習慣が自然に身につく！！最先端リード法採用～
発達障害・多動・学習障害のお子様、塾や習い事との併用も大歓迎！
【逸材屋・本店】☎ 0120-214-620 mstage@mstage-itsu.jp
〒662-8023
西宮市神呪町5-26
広告

# スポット・・・●

## 絵本と音楽でつながる「かぶまるサロン」

甲東小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取り組みの一つである「かぶまるサロン」が、昨年10月20日に甲東小学校ランチルームで開催されました。このサロンは地域の人たちや保護者、先生を結ぶ交流の場となっています。

急に秋らしくなった寒い朝に、ちょうど良い温かい紅茶とコーヒー。机には、草花とお茶菓子が置かれ、会場はとても良い雰囲気です。4回目ということで、保護者や地域からの参加者も顔見知りになり、会話が弾みました。

かぶまるサロンを彩る小物の数々

今回の絵本のテーマは「ついていい嘘？ よくない嘘？」。うそにまつわる絵本を音楽と共に読みます。絵本はプロジェクターで映し出され、山根桜子校長と地域学校協働活動推進員の松本紀子さんが読んでいきます。2人の声と絵本にあった音楽が心地よく、参加者は静かに聞き入っていました。

↓読み聞かせに聞き入る参加者

小学校のマスコットキャラクター「かぶまる」→

『うそついちゃったねずみくん』に始まり、『らくごえほんてんしき』など、6冊の絵本を読みました。本当のことを隠すうそ、誰かを幸せにするうそなどを絵本から学びました。途中、参加者が持ち込んだ絵本の読み聞かせやあらすじ紹介もあり、絵本のタイトルをメモする参加者もいました。

山根校長の話のとおり、会場はホッと一息つけるような空間、みんなとつながる場になっていると感じられるサロンでした。

## 世代を超えたうで自慢

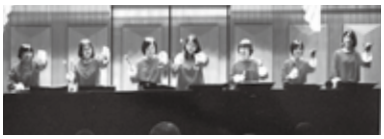
段上西地区社会福祉協議会が主催する「みんなの発表会～わが街のうで自慢～」が、昨年11月8日にアプリ甲東4階甲東ホールで開催されました。初めて実施されたこの催しは、芸術・文化の秋にちなみ、地域の人たちが気軽に舞台に立てる場をつくろうと企画されたものです。

それぞれの特技を披露

当日は、2歳から80代までの出演者、計7組が出演。ハンドベルやハーモニカ、バイオリンの演奏に歌、さらには親子で楽しむファッションショーまで、多彩なプログラムが並びました。

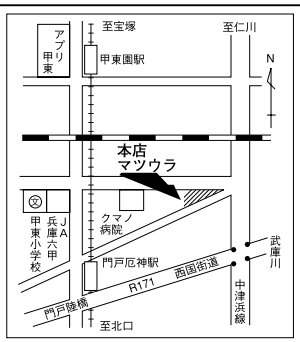
客席には約100人が集まり、開演と共に会場からは温かな拍手が。ハンドベルで『ホワイトクリスマス』が響くと、会場はふわりと冬の気配に包まれました。合間には司会者によるインタビューもあり、「90代になっても歌い続けたい」と話す出演者には客席から大きな拍手が。夫婦デュオの息の合った歌声には「いいなあ」と温かなつぶやきももれ聞こえてきました。

手作りの衣装でファッションショー


澄んだ音色がホールに響く

初開催とは思えないほどの盛り上がりに、参加者は大満足！ 主催者は「今後も続けられたらうれしい」と話しました。次回はぜひ、あなたの特技を披露してみませんか。

～ 地域密着型　自転車専門店 ～
安心できる自転車をお届けできる安全整備士の店
サイクル　ショップ
マツウラ
〒663-8003　本店　西宮市上大市2丁目2番17号　☎52－2036
定休日：毎週　木曜日
第1・第3水曜日




広告

# ・・・すぽっと

## お菓子ポシェットづくりで楽しく学ぶ防災講座

阪神・淡路大震災から30年がたち、子どもたちに防災について考えるきっかけを持ってもらおうと、段上地区青少年愛護協議会主催の「親子でできる防災講座(全3回)」が段上小学校で昨年開催され、延べ185人が参加しました。

第1回は9月27日。ゲームを交えてグループで意見交換しながら防災について考えました。

第2回は10月25日に開催し、防災食をテーマに、「お菓子ポシェット」と「むしパン」を作りました。東日本大震災の際、子どもたちが防災食をあまり食べなかったことから、食べ慣れているお菓子を入れた「お菓子ポシェット」が考案されたそうです。袋にお菓子とジュースを詰め、肩ひもにラムネを入れたお菓子ポシェットを楽しそうに作っていました。お菓子の賞味期限を書いたシールを貼って完成！

早く食べたいけれど…災害時に備えておきます

お菓子は、災害時の非常食として食べるか、何もなければ何もなかったことに感謝して賞味期限日に食べる約束をしました。

むしパンは、袋の中で材料を混ぜて口をしばり、沸騰した鍋の中で30分ほど蒸しました。出来上がるとふわふわに！ジャムをつけて、みんな「おいしい！」と言いながら食べていました。

出来上がったむしパンは、自分で作った紙皿にとって食べました

お菓子ポシェットとおいしいむしパンがあれば、災害時のつらいときを乗り越える力になってくれるでしょう。

第3回は11月8日に、仁川百合野町地区地すべり資料館を見学しました。

3回の講座を通して、親子で防災について考える良い機会となったことでしょう。

## 樋ノ口町1丁目ふれあい会館設立25周年を迎えました！樋ノ口町1丁目自治会

秋晴れの空の下、設立25周年を迎えた樋ノ口町1丁目ふれあい会館で、昨年11月15日に「記念イベント」が開催されました。

開所当時のふれあい会館
平成13(2001)年4月

記念式典では、設立までのいきさつや幾多の困難に直面しながらも乗り越えてきた体験談を聞きました。また、西宮市や樋ノ口町1丁目自治会員、建設業者、近隣地域の人たちなど多くの協力と支援があって、会館が完成したことを知りました。

会館建設前のこの場所は、変則十字路で見通しが悪い上、車1台分が通れる幅しかなく、子どもたちの通学路としては狭くて大変危険な状況でした。会館建設に合わせて、道路拡張の要望を自治会から市へ行い、現在のようになったそうです。

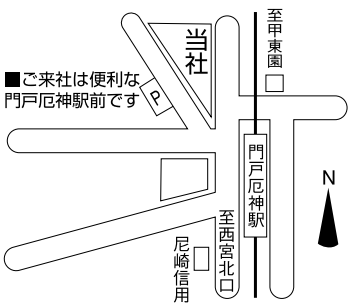
パフォーマンスを披露した石川亮佑さん➡

⬅コーラスの魅力を届けたショコラの皆さん

約100人の多世代が集い、楽しみました♪

安心・安全な暮らしの実現、住みよいまちづくり、住民同士のつながりの場の提供など、自治会がふれあい会館を拠点として大きな役割を担い、取り組んできました。それにより樋ノ口町1丁目は、多世代が暮らしやすい活気のある今のまちの姿になったのでしょう。これからも、次世代へ受け継がれていきますように！

地元に親しまれ
信頼されて62年
http://www.koba-f.co.jp
小林不動産(株)
兵免⑬第6655号
西宮市門戸東町4番55号（阪急門戸厄神駅前）
☎(0798)52−1025㈹



広告

# 告知板

## 甲東公民館

☎51・3748

**☆和太鼓演奏**
～県西太鼓「爛漫」～
**日時**　2月8日(日)13時30分～15時
**出演**　兵庫県立西宮高校　邦楽部
**場所**　講堂
**定員**　当日先着80人

**☆骨粗鬆症と骨折治療**
～寝たきり防止のための最新医療～
**日時**　2月17日(火)13時30分～15時
**講師**　西宮協立脳神経外科病院　副院長　瀧川　直秀氏
**場所**　講堂
**定員**　当日先着50人

**☆関西学院グリークラブコンサート**
**日時**　3月22日(日)13時30分～15時
**出演**　関西学院グリークラブ
**場所**　講堂
**定員**　当日先着80人

## 段上公民館

☎53・0931

**☆かんたんスマホ教室**
～セキュリティと健康管理を中心に体験～
**日時**　1月15日(木)13時30分～15時
**講師**　スマホアドバイザー
**定員**　20人
**申し込み**　公民館に空き状況を問い合わせてください

## 高木公民館

☎65・1569

**☆健康・福祉講座**
「共感トレーニング」
～認知症について一緒に考えてみませんか～
**日時**　1月26日(月)13時30分～15時
**講師**　社会福祉士　特定非営利活動法人　認知症サポートグループ　ONBOARD　理事長　山本　雅彦氏
**場所**　3階講堂
**定員**　当日先着40人

**☆観光・郷土史**
「西宮よもやま話」
～西宮の歴史や風景、懐かしい映像や写真とともに時代を振り返ります～
**日時**　2月15日(日)13時30分～15時
**講師**　雑文家　衣笠　周司氏
**場所**　3階講堂
**定員**　当日先着40人

## 段上児童館

☎53・8303

**☆卓球教室**
**日時**　1月17日(土)15時30分～16時30分
**対象**　小学生
**申し込み**　要申し込み
※詳細は、児童館に問い合わせてください

**☆赤ちゃんと家族のための防災講座**
**日時**　1月22日(木)10時30分～11時30分
**対象**　0～4歳
**講師**　防災士　上沢　聡子氏
**申し込み**　オンライン
※詳細は、児童館だよりで確認してください

**☆保健師・栄養士がやってくる**
**日時**　2月20日(金)10時15分～11時15分
**対象**　0歳～
**申し込み**　オンライン
※詳細は、児童館だよりで確認してください

※諸事情により予告なく中止、変更する場合があります

広告